

# 満福通信

まんぶくつうしん

連休中に本州に上陸した台風19号は、多くの河川の氾濫や山間部の土砂災害をもたらしました。当社の在する八王子でも浅川の激しい濁流が報道され、浸水したエリアも多くありました。一日も早く日常の生活が取り戻せるよう願うばかりです。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 地域の課題解決から考えるこれからの企業の在り方

9月末に「武相まちづくりカンファレンス」というイベントに参加して参りました。メイン講話は日本でファンドレイジング（民間資本）を推進する、㈱ファンドレックス社長でNPO法人日本ファンドレイジング協会代表の鶴尾雅隆氏。NPOの理解と地域における役割についての話を伺いました。経営という視点で企業を観ることが多い私にとって、社会問題や地域課題を解決するという視点から企

業の存在意義や役割を見直してみるということはとても衝撃的で、当社の今後のあり方を見直すきっかけになりました。当社の場合、通常は見込先の経営課題発見が緒となってコンサルティング契約に至りますが、地域課題や社会問題にまで視野を広げてみると、それに関わり得るすべての企業が見込先となり得るという潜在マーケットの存在に気付いたのです。これはすべての企業にとつ

て地域課題や社会問題の解決を考えることが、新規顧客、新市場の開拓に繋がることを意味します。世の中は常に変化し続けています。企業にとっての顧客も同様です。昨日のお客様が明日のお客様とは限りません。その逆も然り。自社は社内リソースを活用して地域のどんな課題を解決することができるのか、少し考えてみるだけでも従来とは違う新鮮な発見があるはずで（太）

### ブカツ（武活＝武州活動）始めます

武州界隈で活躍する経営者・起業家向けの地域密着型小規模異業種交流会「ブカツ（武活＝武州活動）」を八王子駅近くで開催する運びとなりました。毎月の定例開催です。

相模原で起業した当初、地域交流会として「橋本ゆるカフェ会」を始めましたが、そのゆるカフェ会が朝活やスピンアウト企画で様々なイベントなども行う「ハシカツ（橋本活動）」へと発展しました。当社の八王子への移転に伴い、ハシカツは相模原在住の方にお任せしておりますが、現在の拠点である八王子でも開催しようと「ブカツ（武州活動）」を企画致しました。ゆるカフェ会やハシカツで培った運営ノウハウを基に、ノンアルコール・ノンモークで真面目に地域課題について情報交換する前半部と、飲食解禁で楽しく交流する後半部の2部制で開催します。記念すべき第1回目は、八王子駅から徒歩5分の古民家ダイニング「となりわ」で10月30日（水）18時から開催決定となりました。このお店は八王子の空き店舗や空き家を再生するプロジェクトの第一号として生まれました。つまりこのお店自体が地域の課題解決になっており、そこを活用する我々もその課題解決に一役買うことになります。6名から8名の小規模交流会です。ご予約お待ちしております。（太）

### ようこそ太仁亭へ！

台風19号が過ぎ去って1週間後、ようやく畑の様子を見に行く事が出来ました。多摩丘陵の斜面にあるこの農園は、大雨の際には決まって水の流れが出来る箇所があると聞いていましたが、我々の畑に水が流れたとは聞いた事がありませんでした。ところが、今回は様子が違います。農園内の全ての畑道は各畑から流出したであろう土

がふかふかに積もり、我々の大根の芽は3つも流されてしまいました。立てたはずの畝は畝間が土に埋もれてなくなっており、土がえぐられて流出した箇所も幾つかありました。この畑を借りてまだ1年半ですが、このような被害は初めてです。各地の被害が如何に甚大なものだったか、思いを馳せずにはられません。（仁）

### 日本刀から生まれた言葉達-7「丁々発止」

激しく意見をぶつかり合わせる様子のことを丁々発止と言いますが、元々「丁々」は「かんかん」「ちんちん」という意味で、物を続けて強く打つ音を表します。「丁丁」や「打打」と書いたりすることもあります。「発止」は物を強く打ったり、勢いよく飛来してくる物を受け止めたりする様、また堅い物と堅い物がぶつかる音を表し、「発矢」と書くこと

もあります。いずれも物を強く打つ音や堅い物同士がぶつかり合う音を表しています。刀で切り合う時代ではなくなりましたが、言葉による精神の削り合いは激しさを増している気がします。「ついカッとなって」は私もよくありますが、アンガーマネジメントを含め、武術からも感情を制御する術を学び言葉の矛を収める努力をしたいと思えます。（太）

### 今月のお豆ちゃん

畑があまり好きではないお豆ちゃん。トーストにはちみつを塗った「はちみつパン」で誘い出し、なんとか畑へ行く週末。この日は、たまたま月初めの草刈日だったので、おじ様が二人作業をしておいででした。他人の存在によって張り切りスイッチが入り、バケツに水を汲んではせせと運んで手伝ってくれるお豆ちゃん。収穫物片手におじ様方にご挨拶にも行きます。褒められてまた張り切ります。お陰で作業が捗りました。（仁）



### 落花生

とある週末、近所の都立公園内の畑で「落花生の収穫と茹でピー（塩茹でピーナッツ）を食べる」という催しがあるというので、お弁当を持参して出掛けました。到着してみると「不作につき茹でピー中止」と手書きの張り紙。心も頭も茹でピーに占拠されていたので、切り替えるのに少々時間を要しました。畑の落花生は蒔き時を大きく外してしまった上に、今年もカラスの襲来を受けましたが、一粒でも多く茹でピーを楽しみたい秋です。（仁）

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2019.10.21 寒露（かんろ）

蟋蟀在戸（きりぎりすとにあり）

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

<https://ccore.co.jp/>

過去号：ウェブサイト1からご覧頂けます。

CONCEPTCORE